学 科	スポーツ科学科		科	目	区	分	基	礎分野	授業の方法	演	習
科目名	総合(社会人基礎力)演習	N H	必修	/選	択⊄	D別		必修	授業時数(単位数)	30(2)	時間(単位)
対象学年	1年生		学期	及び	曜日	寺限	前期	木曜1限	教室名	40	1
担当教員	中山 広基	実務経験と その関連資格									

《授業科目における学習内容》

本講義では、社会学はもとより歴史学、教育学、文化研究、政策研究、開発研究、地域研究、福祉研究などを含み込んだスポーツの社会科学を主とし、人々のスポーツをする・観る・読む・聞く等の要求が社会にどのように求められているのかを知ることができる。

《成績評価の方法と基準》

出席点(20%)・平常点(10%)・試験(70%)から授業の理解度を総合で示す。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ニュース検定対策教本

《授業外における学習方法》

新聞など社会の流れを確認しておくこと。また、特にトレーナーや体育、運動に関することを把握しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

グループワークを中心に展開。

授美方			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	プレカレッジ確認テストを終了する		最近のニュースを確認し
1	我形式	各コマに おける 授業予定	プレカレッジ確認テスト実施⇒終了後は目標設定	スコラ手帳	取近の一ユー へを確認しておく。
第 2	講義	授業を 通じての 到達目標	キャリアサポートアンケートを終了する		
2回	我形式	各コマに おける 授業予定	キャリアサポートアンケート終了後、 班設定・目標管理・スコラ手帳	スコラ手帳	配布資料の復習
第	講義	授業を 通じての 到達目標	ニュース検定対策授業を実施		
3 回	我形式	各コマに おける 授業予定	対策教本をもとに習熟度を深める	ニュース検定	配布資料の復習
第	講義	授業を 通じての 到達目標	ニュース検定対策授業を実施		
4	· 我形式	各コマに おける 授業予定	対策教本をもとに習熟度を深める	ニュース検定	配布資料の復習
第	講	授業を 通じての 到達目標	ニュース検定対策授業を実施		
5	義形式	各コマに おける 授業予定	対策教本をもとに習熟度を深める	ニュース検定	配布資料の復習

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講	授業を 通じての 到達目標	ニュース検定対策授業を実施		
6 回	義形式	各コマに おける 授業予定	対策教本をもとに習熟度を深める	ニュース検定	配布資料の復習
第	講義	授業を 通じての 到達目標	ニュース検定対策授業を実施		
7 回	我形式	各コマに おける 授業予定	対策教本をもとに習熟度を深める	ニュース検定	配布資料の復習
第	講	授業を 通じての 到達目標	ニュース検定対策授業を実施		
。 回	義形式	各コマに おける 授業予定	対策教本をもとに習熟度を深める	ニュース検定	配布資料の復習
第	講義	授業を 通じての 講達目標			
9 □	我形式	各コマに おける 授業予定	対策教本をもとに習熟度を深める	ニュース検定	配布資料の復習
第	講美	授業を 通じての 到達目標	資格対策及び学んだ内容の整理と確認	口土被点头被点	数割妻 FM 即叶のもて八
10回	義形式	各コマに おける 授業予定	日赤救急法救急員対策及び弱点科目の補講	日が牧忌伝牧急員養成テキスト	教科書より興味のある分野を抽出しておく。
第	講義			口去数色汁数色	グループの案について
11 回	我形式	各コマに おける 授業予定	日赤救急法救急員対策及び弱点科目の補講	日赤救急法救急 員養成テキスト	自身の考えをまとめてお くこと。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	資格対策及び学んだ内容の整理と確認	日赤救急法救急	グループの案について
12 回	我形式	各コマに おける 授業予定	日赤救急法救急員対策及び弱点科目の補講	日が扱いた状态	自身の考えをまとめておくこと。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	資格対策及び学んだ内容の整理と確認	日赤救急法救急	グループの案について
13 回	我形式	各コマに おける 授業予定	日赤救急法救急員対策及び弱点科目の補講	日が扱いは扱い。	自身の考えをまとめてお くこと。
第	講美	授業を 通じての 到達目標	資格対策及び学んだ内容の整理と確認	口去数点汁数点	グループの案について
14 回	義形式	∮ 各コマに		日赤牧急法救急 員養成テキスト	自身の考えをまとめてお くこと。
第	講美	授業を 通じての 到達目標	社会とトレーナー活動との関わりを理解することができる。		
15 回	義形式	各コマに おける 授業予定	まとめ	配布資料	本講義をまとめておく

	学 科	スポーツ科学科		科	目	区	分	基礎分野	授業の方法	演	習
	科目名	総合(社会人基礎力)演	習	必修	/選	択の	D別	必修	授業時数(単位数)	30(2)	時間(単位)
5	対象学年	1年生		学期	及て	曜日	寺限	後期	教室名	40)1
ł	担当教員	中山 広基	実務経験と その関連資格								

《授業科目における学習内容》

本講義では就職活動や社会人基礎力の養成に取り組む。社会で求められる人物像と就職先で求められる様々なニーズに自分自身がどのように貢献するかを考え卒後のキャリア形成を視野に入れ学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

出席点(20%)・平常点(10%)・試験(70%)から授業の理解度を総合で示す。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

資料配布

《授業外における学習方法》

新聞など社会の流れを確認しておくこと。また、特にトレーナーや体育、運動に関することを把握しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

グループワークを中心に展開。

授美方	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	演習	授業を 通じての 到達目標	本講義の進め方について理解することができる。	配布資料	最近のニュースを確認し
1	自形式	各コマに おける 授業予定	ガイダンス	朝日時事ワークシート	ておく。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	トレーナーと社会について理解することができる。	配布資料	
第 2 回	自形式	各コマに おける 授業予定	社会人基礎について	朝日時事ワークシート	配布資料の復習
第	演習	授業を 通じての 到達目標	トレーナーと社会について理解することができる。	_配布資料 朝日時事ワーク 酉 シート	配布資料の復習
第 3 回	百形式	各コマに おける 授業予定	社会人基礎について		
第	演羽	授業を 通じての 到達目標	社会人基礎知識(一般基礎)について理解することができる。	配布資料	
4 □	習形式	各コマに おける 授業予定	社会人基礎について	朝日時事ワークシート	配布資料の復習
第	演羽	授業を 通じての 到達目標	社会人基礎知識(マナー)について理解することができる。	配布資料	
5 □	習形式	各コマに おける 授業予定	社会人基礎について	朝日時事ワークシート	配布資料の復習

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	演習	授業を 通じての 到達目標	社会人基礎知識(コミュニケーション)について理解することができる。	配布資料	
6	形式	各コマに おける 授業予定	社会人基礎について	朝日時事ワークシート	配布資料の復習
第	演習	授業を 通じての 到達目標	健康分野について理解することができる。		
7 回	形式	各コマに おける 授業予定	資格試験対策	配布資料	配布資料の復習
第	演習	国 ジ 各コマに			
8 🗓	ョ形式			配布資料	配布資料の復習
第	演習	授業を 通じての 到達目標 生理学分野について理解することができる。			
9 🗓	形式	各コマに おける 授業予定	資格試験対策	配布資料	配布資料の復習
第	演習	授業を 通じての 到達目標	情報分野について理解することができる。		
10回	自形式	各コマに おける 授業予定	資格試験対策	配布資料	配布資料の復習
第	演習	授業を 通じての 到達目標	解析分野について学ぶことができる		
11 回	形式	各コマに おける 授業予定	資格試験対策	配布資料	配布資料の復習
第 12	演習	授業を 通じての 到達目標	トレーナーにおける総合分野について理解することができる。		
12	形式	各コマに おける 授業予定	資格試験対策	配布資料	配布資料の復習
第	演習	授業を 通じての 到達目標	社会とトレーナー活動との関わりを理解することができる。		
13 回	音形式	各コマに おける 授業予定	資格試験対策	配布資料	配布資料の復習
第	演習	授業を 通じての 到達目標	社会とトレーナー活動との関わりを理解することができる。		
14	百形式	各コマに おける 授業予定	資格試験対策	配布資料	配布資料の復習
第	演習	授業を 通じての 到達目標	社会とトレーナー活動との関わりを理解することができる。		
15 回	育形式	各コマにおける授業予定	まとめ	配布資料	本講義をまとめておく

学 科	スポーツ科学科	科目区分	基礎分野	授業の方法	演習
科目名	総合(社会人基礎力)演習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年生	学期及び曜時限	前期 火曜・3限	教室名	第2校舎402教室
担当教員	織田 修輔 実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

実習指導については、実習に向けての心構えや日誌記載について学ぶ。就職指導については、履歴書の記載方法について理解できるようになる。

《成績評価の方法と基準》

- 1. 定期試験:70 %
- 2. レポート: 20% 3. グループワーク中の態度・発表: 10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

配布資料が中心

《授業外における学習方法》

指定している教科書を事前に読んでおくこと。 授業内に小テストを行うことがあるため予習復習をしておくこと(不定期)

《履修に当たっての留意点》

身につけた知識を持って業界へ羽ばたけるように就職に結び付けましょう。

授第	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を出来るようになる	配布資料が中心	授業範囲を把握	
1	百形式	各コマに おける 授業予定	本年度の就職の流れ	です 火	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	町左次率は白さ	授業範囲を把握	
第 2 回	百形式	各コマに おける 授業予定	就職希望調査面談		必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	町左次約が中さ	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
3	育形式	各コマに おける 授業予定	履歴書記載・自己PRについて	配布資科が中心		
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	町左次坐は中さ	授業範囲を把握	
4 回	質形式	各コマに おける 授業予定	履歴書記載・自己PRについて	配布資料が中心 です。	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演习	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	町左次坐は中さ	授業範囲を把握	
5回	習形式	各コマに おける 授業予定	業界ガイダンス	配布資料が中心 です。	必要用語を学習し 用語集の作成	

授第	業の法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	■配布資料が中心	授業範囲を把握	
6 回	形式	各コマに おける 授業予定	業界ガイダンス	正和資料が平心です。	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	通じ	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	■配布資料が中心	授業範囲を把握	
7 回	形式	各コマに おける 授業予定	業界ガイダンス	です。	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 適じての 到達目標 キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる		授業範囲を把握		
∞ □	音形式	各コマに おける 授業予定	業界ガイダンス	■配布資料が中心 です。	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	■配布資料が中心	授業範囲を把握	
9 <u>u</u>	形式	各コマに おける 授業予定	業界ガイダンス	正和資料が平心です。	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	油 通じて	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	準備を行い、目標の設定を出来るようになる 配布資料が中心		
10回	ョ形式	各コマに おける 授業予定	学外実習について(心構え、日誌記載のルールなど)	正和真材が千七です。	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	■配布資料が中心	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
11 回	一形式	各コマに おける 授業予定	学外実習について(実習日誌記載方法)	正和資料が中心です。		
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	■配布資料が中心	授業範囲を把握	
12回	形式	各コマに おける 授業予定	学外実習について(注意事項、個人情報の取り扱い)	正加東州が中心です。	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	■配布資料が中心	授業範囲を把握	
13	形式	各コマに おける 授業予定	就職指導(働くということについて)	正和資料が平心です。	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	■配布資料が中心	授業範囲を把握	
14 回	音形式	各コマに おける 授業予定	就職指導(自己分析、自己PRを考える)	配布資料が中心です。	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	キャリア開発の準備を行い、目標の設定を出来るようになる	一両右次約が立る	授業範囲を把握	
15 回	育形式	各コマに おける 授業予定	就職指導(履歴書記載)	→配布資料が中心 です。	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	

学 科	スポーツ科学科	科 目 区 分 基	礎分野 授業の方法	演習
科目名	総合(社会人基礎力)演習	必修/選択の別	必修 授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年生	学期及び曜時限 後期	教室名	第2校舎401
担当教員	織田 修輔 実務経験とその関連資格	3		

《授業科目における学習内容》

社会人基礎力を演習し、就職活動の準備を出来るようになる、海外研修の予備学習を出来るようになる 健康運動実践指導者対策、AT対策をはじめとした資格対策授業を及び就職対策

《成績評価の方法と基準》

- 1. レポート: 70% 2. 出席点: 20%
- 3. 平常点:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

配布資料

《授業外における学習方法》

配布資料を事前に読んでおくこと。

《履修に当たっての留意点》

学友会活動や海外研修などを通し、組織で活動することを学ぶ。就職先で即戦力となれるよう社会人基礎力を身につけましょう。

授第			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	演習	授業を 通じての 到達目標	国際教育に関する学習を通し海外研修の準備を出来るようになる	手帳·筆記用具	授業範囲を把握
1	形式	各コマに おける 授業予定	海外研修準備	エコナー次业 火	必要用語を学習し 用語集の作成
第	演習			壬帳。 簽訂田目	授業範囲を把握
2 🗓	自形式	各コマに おける 授業予定	海外研修	手帳·筆記用具 ½	必要用語を学習し 用語集の作成
第	演習	授業を 通じての 到達目標	学友会活動(学園祭)を通し社会人基礎力を向上できるようにな る	■手帳·筆記用具	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
3 🗓	音形式	各コマに おける 授業予定	学園祭企画立案及び個別課題(就職対策・資格対策)		
第	演習	授業を 通じての 到達目標 学友会活動を通し社会人基礎力を向上できるようになる		五帳 佐勃田目	授業範囲を把握
4 □	音形式	各コマに おける 授業予定	学園祭企画立案及び個別課題(就職対策・資格対策)	手帳·筆記用具配布資料	必要用語を学習し 用語集の作成
第	演習	授業を 通じての 到達目標	学友会活動を通し社会人基礎力を向上できるようになる	壬龍. 公司田目	授業範囲を把握
5 回	音形式	各コマに おける 授業予定	学園祭企画立案及び個別課題(就職対策・資格対策)	手帳·筆記用具 配布資料	必要用語を学習し 用語集の作成

	業の法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	学友会活動を通し社会人基礎力を向上できるようになる	- 手帳。 佐知田目	授業範囲を把握	
6 □	智形式	各コマに おける 授業予定	学園祭への具体的準備及び個別課題(就職対策・資格対策)	手帳·筆記用具配布資料	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	学友会活動を通し社会人基礎力を向上できるようになる	子框。笙和田目	授業範囲を把握	
7 回	育形式	各コマに おける 授業予定	学園祭への具体的準備及び個別課題(就職対策・資格対策)	■手帳・筆記用具配布資料	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	学友会活動を通し社会人基礎力を向上できるようになる	- 毛帳, 佐和田目	授業範囲を把握	
8 □	習形式	各コマに おける 授業予定	学園祭への具体的準備及び個別課題(就職対策・資格対策)	手帳·筆記用具配布資料	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	就職準備を通し社会人基礎力を向上する	−手帳・筆記用具	授業範囲を把握	
9 回	自形式	各コマに おける 授業予定	個別課題(就職対策·資格対策)	于版• 聿記用具	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	就職準備を通し社会人基礎力を向上する	社会人基礎力を向上する手帳・筆記用具		
10回	育形式	各コマに おける 授業予定	個別課題(就職対策·資格対策)	配布資料	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	就職準備を通し社会人基礎力を向上する	工能, 体和田目	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
11 回	音形式	各コマに おける 授業予定	個別課題(就職対策·資格対策)	■手帳・筆記用具 配布資料		
第	演習	授業を 通じての 到達目標	就職準備を通し社会人基礎力を向上する	- 手帳・筆記用具	授業範囲を把握	
12 回	育形式	各コマに おける 授業予定	個別課題(就職対策·資格対策)	配布資料	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	就職準備を通し社会人基礎力を向上する	- 手帳・筆記用具	授業範囲を把握	
13 回	音形式	各コマに おける 授業予定	個別課題(就職対策·資格対策)	配布資料	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	就職準備を通し社会人基礎力を向上する	- 手帳・筆記用具	授業範囲を把握	
14 回	音形式	各コマに おける 授業予定	個別課題(就職対策・資格対策)	配布資料	必要用語を学習し 用語集の作成	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	就職準備を通し社会人基礎力を向上する	子框。第20円月	授業範囲を把握	
15 回	育形式	各コマに おける 授業予定	1年次復習	手帳·筆記用具配布資料	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	